

八丈島 水産だより

12月号
2017



八丈島は11月に入るとグッと気温が下がり、冬の訪れを感じさせるような寒さになりました。それに合わせてイソギクやストレリチアといった冬の花も咲き始めています。また天候の良い日が増えてきたので、台風などで延期となっていたレインボーカップフットサル大会や24時間チャレンジ八丈太鼓といったイベントも開催され、大いに盛り上がりました。

■ 最近の漁模様

8月から始まった今年の八丈島のムロアジ漁は、12月で終わりを迎えます。現在3隻が操業していますが、このままでは不漁だった昨年をさらに下回るような水揚げとなっています。水温や潮の流れの影響か、漁が行われる島周辺の海にムロアジがあまり近づいてこないようです。また海の状態が悪い日も多く、他の魚もなかなかとれていません。



■ 漁協女性部の活躍が表彰されました

農林水産省が主催した第4回「ディスカバー農山漁村の宝」において、八丈島漁協女性部の活動が関東農政局版の優良事例に選ばれました。日本各地の優れた取り組みを全国に発信するもので、女性部は『東京の子供たちに、東京の島の魚を!』というキャッチフレーズで、都内学校への給食用食材提供や出前授業などの取り組みについて紹介しています。詳細は以下のサイトから見る事ができます。

関東農政局ホームページ
<http://www.maff.go.jp/kanto/nouson/shinkou/discover/index.html>

ディスカバー農山漁村の宝 第4回募集開始!

募集期間：平成29年6月15日(木)から
平成29年9月11日(月)まで

「ディスカバー農山漁村の宝」とは
 農山漁村の固有な魅力を引き出すことにより地域の活性化、所得向上に貢献している優良事例を選定し、全国に発信するものです。優良事例を20地区程度選定し、この優良事例の中からグランプリ1件、特別賞3件程度を選定します。選定された地区の代表者等は都内で開催する交流会に招待されます。

「ディスカバー農山漁村の宝」に選定されると...
 選定証が授与され、農林水産省ホームページで活動が紹介されるほか、各種メディア媒体への紹介記事掲載や、様々なイベントへの出張支援などを通じて、全国的な情報発信の機運が受けられます。

対象となる取組
 地域において、新たな需要の発掘・創造や埋もれていた地域資源の活用により、農林水産・地域の活力創出につながる取組が対象です。
 ○ 農・山・漁業・加工・流通・観光・福祉・教育・環境・防災・まちづくり等の取組
 ○ 幅広い分野・地域との連携による農林水産業や山・漁村の再生
 ○ 圏内外の新たな需要を開いた農林水産業の実現

応募について
 応募用紙及び応募方法は農林水産省ホームページに掲載されていますのでダウンロードして下さい。応募用紙の電子データをCD-Rに保存し、裏面の応募資料の提出先から該当する提出先へご郵送下さい。

これまでに選定された地区の声
 これまでに選定された地区に対し、選定後の効果や変化についてアンケート調査をしたところ、以下のような回答がありました。
 ・マスコミに取り上げられ、来場者数が大幅に増えた。
 ・商品の知名度が上がり、前年度に比べ売上げが増えた。
 ・全国紙からの取材や、講演依頼など、PRの機会が増えた。
 ・他の企業と連携する機会が生まれ、新商品開発へと繋がった。

他業による応募も可能
 農山漁村の宝の取組は、農林水産業だけでなく、観光・福祉・教育・環境・防災・まちづくり等の分野でも実施可能。農山漁村の宝の取組を通じて、地域活性化に貢献できる取組を募集しています。

農林水産省